

第72号

4月

# あいしま号

〒246-0022

横浜市瀬谷区三ツ境

73-7

株式会社アイシマ

TEL045-360-6021

今月は・  
グループホームはなもも

藤平ホーム長の

お話です。

皆様こんにちは。グループホームはなももの管理者をさせていただいております。藤平久美子と申します。まだお話していない自分の経歴を紹介させていただきます。



学生だった頃、人の為になる仕事をしたいと、保育所か老人ホームかと迷っておりました。

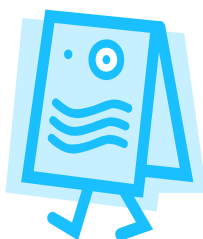


先に老人ホームに連絡したところ、電話不通のため断念、保育園に繋がり（幼児教育学

科の学生だったので）採用され新生児から年少組を担当。7年間勤務、結婚1年後専業主婦になりましたが、子供3人のうち末っ子が幼稚園に入り時間外保育があるのを知って、預けながらホームヘルパーの仕事を始めました。介護の仕事に就いたのは33歳の時でした。とても充実した、やりがいのある仕事でした。まさに天職だと思います。利用者様が私に訪問するのを、今か今かと窓から覗いて待っていてくださっていたり、仕事を依頼するより話し相手になってもらいたくて、おしゃべりが止まらなかつたりと、その家によって様々な仕事内容・家事・介護・通院介助・話し相手と盛りだくさんの涙あり、怖さあり、笑いありのハプニングも、今ではとても懐かしく思い出されます。



ヘルパーを10年、ヘルパー1級・介護福祉士を取得後サービス責任者・兼任ヘルパーとしてヘルパー派遣事業所に勤務、ヘルパー不足のため3年で事業所は閉鎖、その後も有料老人施設勤務、ケアマネージャーの資格を取得しケアマネの仕事を始めましたが体調を崩し退職、まだ経験していなかったグループホームにとっても興味があったので、募集を見て入職しました。



平成18年にアイシマに勤務、主任や管理者業務に就き「つらい！辞めたい！私の時間返して！」（心の叫び）と現在まで至っておりますが、何やかやと言いながら、「自分は仕事が好きなんだなあ。」と思いました。以前グループホームに関する本を読み、自立した方と一緒に家事をし、家庭的に共に過ごしている姿を想像し

ましたが、実際勤務して終末期の体験（5名様）もし、そのギャップに驚きました。現在は高齢化傾向と認知症が進行し、手すりの追加取り付けや介護拒否・飲み込み困難や転倒予防策などの話も多くなってきました。スタッフの負担も大きくなってきています。しかし、「継続は力なり」スタッフも仕事力がついてきました。スタッフ1人ではどんなに頑張っても限度がありますが、全スタッフが1丸となれば、目標も達成できます。利用者様が安全と安心の生活を送っていただけのようにスタッフ共々頑張っていきたいと思えます。これからも、はなもも共々よろしくお願い致します。



